

新潟県日赤有功会NEWS

第2号（令和3年11月）



有功章と支部長感謝状の贈呈を受けました。



金色有功章を贈呈いただきました。
宮本事務局長（左）と本間有功会長（右）

昨年度開催予定でありました有功会創立50周年記念事業を新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止し、その代替事業として日本赤十字社新潟県支部へ寄付いたしました。

それに対して日赤本社から金色有功章を、日赤新潟県支部から支部長感謝状を贈呈いただきました。

9月開催予定でありました懇話会の席で贈呈を受ける予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症に対する県独自の特別警報が発令されていたことなどから中止といたしましたので、赤十字終活セミナーの開演前に、日赤新潟県支部の宮本事務局長から贈呈を受けました。

会員みなさま、ご協力ありがとうございました。

～令和3年度上半期において多くの有功会員の皆様から、赤十字活動資金にご協力をいただきました。～

コロナ禍においても多くの会員の皆様からご協力いただきました。146人・社の会員の方々から4,783,331円のご協力をいただきました。災害救護活動や新型コロナウイルス感染症に対する活動など、いのちと健康を守る赤十字の活躍に期待します。

青少年赤十字活動への支援事業を実施しました。

昨年度は、新型コロナウイルス流行下で支援対象の青少年赤十字活動が実施されなかったことから、支援を中止といたしましたが、今年度は、対象の活動が実施されましたので支援いたしました。



「シトラスリボンプロジェクト」に参加し、リボンを作成（写真左）

上越地区協議会のトレーニングセンター（中学校の部）の様子

三角巾での応急手当（写真右）

新潟市地区協議会のトレーニングセンター（小・中・高校合同）の様子



新潟県日赤有功会NEWS

第2号（令和3年11月）

「赤十字終活セミナー ～笑いは長生きの秘訣～」を開催しました。

令和3年9月30日（木）新潟ユニゾンプラザの多目的ホールを会場に、93名（定員100名）の参加をいただき、「赤十字終活セミナー」を開催いたしました。有功会員からは22名の参加をいただきました。

上越市出身の三遊亭白鳥師匠から「知ってわかった！生前整理は大事です」という演目で、ご自身の体験と笑いをまじえた創作落語をご披露いただきました。



落語家 三遊亭白鳥 師匠

新潟県行政書士会の清野松男講師からは、「終活のいろは」として、「エンディングノート」を中心に講演いただきました。

その他、赤十字職員から赤十字活動の紹介や遺贈や相続財産寄付についての説明がありました。



行政書士 清野松男 講師

参加された有功会員の方からは、「企画内容がよかった。」「久しぶりに会の行事に参加できた。」などの感想をいただきました。

また、アンケートの結果から、参加された方々の7割以上の方が、今回のセミナーに参加して、終活について考えてみようと思われたことがわかりました。

編集後記

創刊号から半年、第2号を発行することができました。いまだにコロナ禍での活動を余儀なくされておりますが、開催するかどうかをギリギリまで検討した結果、何とか「赤十字終活セミナー」を開催することができ、盛会裏に終えることができました。

季節の変わり目でもありますので、会員の皆様におかれましても、引き続き、ご自愛くださいますようお願い申し上げます。

日本赤十字社も、皆さまのご支援をいただきながら、引き続き「いのちと健康、尊厳を守る」という使命を果たすべく、日々取り組んで参ります。

ご感想、そして「このような記事が読みたい！」等、ご意見やご要望をお待ちしております。

